

# 稚内南小学校だより「まこと」



第12号

■発行日 令和6年2月29日  
■発行者 稚内市立稚内南小学校  
■責任者 校長 三野宮 誠一  
■TEL0162-23-3329 FAX22-7924  
■ホームページ  
<https://wakkanai-minami.e.edumap.jp/>



## 卒業に向けて一歩ずつ

3月19日の卒業式に向け、6年生は卒業制作や文集作業に取り組み始め、小学校生活最後の時を大切に過ごしています。5年生はそんな6年生の背中を見ながら「南小行進曲」の練習に励んでいます。今年も卒業式の入場曲は5年生が演奏を担当します。「難しいなあ」と言いながら必死に練習に励む5年生、当日は立派な演奏を披露できると感じます。

## 3月の行事予定

| 日    | 曜 | 行 事 予 定         |
|------|---|-----------------|
| 1 日  | 金 | 開校記念日→通常登校日     |
| 4 日  | 月 | 短縮日課            |
| 5 日  | 火 | 港小との交流(6年) 短縮日課 |
| 6 日  | 水 | 短縮日課            |
| 7 日  | 木 | ニコタイ感謝の会        |
| 8 日  | 金 | 短縮日課            |
| 11 日 | 月 | 短縮日課            |
| 12 日 | 火 | 短縮日課            |
| 14 日 | 木 | 卒業式総練習          |
| 19 日 | 火 | 第79回卒業式         |
| 22 日 | 金 | 大掃除             |
| 25 日 | 月 | 修了式・離任式(給食なし)   |

## 全国体力調査の結果

7月に5年生を中心に実施した全国体力運動能力調査の結果が届きました。以下概要をお知らせします。

| 体力テスト種目     | 単 位 | 体力要素      | 測 定                    |
|-------------|-----|-----------|------------------------|
| ① 握力        | kg  | 筋力        | 左右握力の平均値               |
| ② 上体起こし     | 回   | 筋パワー・筋持久力 | 30秒間に上体を起こした回数         |
| ③ 長座体前屈     | cm  | 柔軟性       | 長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離 |
| ④ 反復横とび     | 点   | 敏捷性       | 20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数  |
| ⑤ 20mシャトルラン | 回   | 全身持久力     | 20m走行の折り返し回数           |
| ⑥ 50m走      | 秒   | 疾走能力      | 50mの疾走時間               |
| ⑦ 立ち幅とび     | cm  | 筋パワー・跳躍能力 | 両脚で前方へ跳躍した直線距離         |
| ⑧ ソフトボール投げ  | m   | 巧緻性・投球能力  | ソフトボールを遠投した距離          |

### 【5年生男子】

「握力」「上体起こし」「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」で全国平均を0.5~1.6p上回りました。その他の項目は全国平均を下回りましたが近い値でした。「20mシャトルラン」の値が若干低いことから「全身持久力」を高める運動を行っていく必要があることが分かりました。

### 【5年生女子】

「握力」「反復横跳び」「立ち幅跳び」「ボール投げ」で全国平均を0.2~2.9p上回りました。「20mシャトルラン」は全国平均を4.8p下回りました。この結果から男子と同様「全身持久力」を高める運動を行っていく必要があることが分かりました。

## 今後の子育て連絡協議会の活動について

校長 三野宮 誠 一

2月9日に「全市子育て運動交流研修会」が稚内市教育委員会・稚内市子育て推進協議会の主催で開催されました。市内の教育関係者が一堂に会し、市内各地区の「子育て連絡協議会」や「学校運営協議会」の活動状況が交流されました。その中で、「今後の子育て運動」の方向性について次のことが確認されました。

- （従前どおり）「子育て」や「平和」について、家庭・地域社会・学校の関係者が学ぶ機会をつくる
- 大人が準備した事業に子どもが参加し多様な体験をするだけではなく、子ども自身が考えたことを大人がサポートしながら実現させる機会を積極的につくることを目指す

前者については、今年度、南地区子育て連絡協議会（以下、南子連）は9月に「子育て平和コンサート」を、11月に「LGBTQ」に関する学習会を開催しましたので、イメージしやすいと思います。後者については大人が企画したイベントを中核とした活動から、「子どもが自分たちで考えた活動を大人がサポートし、子どもが主体性を発揮できる場もつくっていく」ということです。

各校のPTA（単P）や町内会単位で実現が可能な取組であれば、南子連の出番はありません。それぞれの団体で設けたねらいの下、事業を進めていくこととなるでしょう。ただし、単Pや町内会をまたいだ比較的大きな子どもの「こうしたい」という思いや夢が出されたなら、南子連を核として「経費」や「ノウハウの伝授」の部分で大人によるサポートが求められます。

子どもたちが自分たちで企画・運営し、事業を実施することは、多様な力を身に付ける絶好の機会となり、子どもたちの成長につながることでしょう。企画・運営等を大人がやってしまっただけでは意味がないため、子どもに「ゆだねる」「まかせる」部分を大人側がしっかりおさえて

おく必要があります。これはとても難しいことですが、大人が取組の目的・ねらいを忘れなければうまくいくと思います。

例えば、子どもたちから「夏休み中に子ども・大人・年配者が花火を楽しめる会を企画したい」という思いが出てきたとします。大人が企画・準備し、子どもたちを招いて楽しんでもらう会ではありません。業者との折衝を含め、可能な限り子どもたちが自分たちの力で準備を進め、当日も自分たちが進行することとなります。当然、すべてを子どもたちにゆだねるわけではありません。安全管理を含め、大人が目を見守らなければならないことは多々あります。

「そんなこと、子どもには無理ではないか？」との声があるかもしれません。今回の学校便りでは、児童会が能登半島地震に関わる募金を集め、日本赤十字社に寄付した記事を掲載しています。この活動は教員主導で進めたわけではなく、児童会役員の「やってみたい」という考えからなされた活動になります。普段から児童生徒は身近なことに関わり様々なことを考えていることが分かります。

南小学校は令和6年度、南子連の事務局を担当します。例えばこのようなことが考えられます。南地区には2つの小学校の児童会と1つの中学校の生徒会があります。子どもたちは地域のために取り組んでみたいことをもっているかもしれません。しかしながら児童会・生徒会活動に費やせる経費は限定的です。それぞれから出された「思い」でもいいですし、相互に協議して出された「夢」でもいいので、実現が可能なことであれば南子連の中で協議し、地域の大人が関わる実行委員会を立ち上げて経費面や企画・運営のサポートを行うことは可能でしょう。

市内ではすでに社会教育の場で、子ども主体の活動がスタートしている地区があります。活動の具体は各地区にまかされていますので、南地区の実情に即したものを今後つくっていくことができればと思います。

## 稚内大谷高校生がボランテ

### ィアで来てくれました

2月13・15・16日の3日間、稚内大谷高校の3年生3名が授業や学級運営のサポートのためボランティアで来てくれました。学校で先生方のお手伝いをしてほしい、と大谷高校に打診したところ、快諾していただき実現した取組です。低・中・高学年に1人ずつ入っていただき、算数の授業を中心に解き方を教えてもらい、丸付けもしてくれました。高校生にとっても良い経験だったようで、将来教員志望の生徒さんは「学校現場を体験でき、貴重な機会になりました。」と感想を述べてくれました。

## 石垣島のことを教えてもら

### いました～石垣市職員学校訪問～

2月15日、稚内市に石垣市から派遣されている、石垣市職員「石垣理那さん」が学校訪問で来校されました。北海道の学校の様子を知りたいということで、授業の様子を見学していただき、お昼時間には石垣市の様子も教えてもらうインタビューをテレビ放送で発信しました。事前に児童から出た質問に丁寧に答えてもらいました。児童が驚いていたのは「2月の気温が19度近くあること」「海で3月から泳げること」などでした。同じ日本でも全然違うことを知り、児童にとって貴重な機会となりました。

## 稚内市議会による6年生主権者教育

2月21日、稚内市議会のご協力を得て、6年生主権者教育を行いました。6年生が「市議会議員さんはどんな仕事をしているのだろう」と疑問を持ったところからこの授業が計画されました。最初に稚内市議会議長の鈴木茂行様より、市議会のしくみを教えていただき、その後グループに分かれて「理想のまち 稚内とは」というテーマで議員さんを交えて話し合いを行いました。「Round1のような遊べる施設があるといい」「1年中サッカーができる競技場を作って欲しい」などの他に「地震に強い街づくりにしてほしい」「子ども食堂の回数を増やして欲しい」などの要望があげられていました。参加した議員さんから「稚内のことを真剣に考えてくれているのが分かって嬉しい」と激励の声もいただきました。

### 能登半島沖地震の募金を市役所に届けてきました

2月13日から1週間児童会が行った能登半島沖地震の募金総額は79,907円でした。2月21日に児童会が市役所を訪問し、集めた募金を渡してきました。募金は市役所を通じて日本赤十字社に寄付されるということです。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。